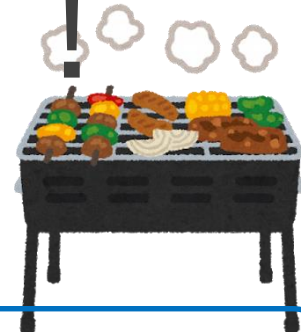


腸管出血性大腸菌に 注意しましょう！



特徴

- ・ 感染力が強く非常に少ない菌数で感染し、特に夏季に多く発生します
- ・ 大腸で増殖するときに毒素を産出します
- ・ 2～14日と潜伏期間が長いです

主な症状について

- ・ 腹痛と水様性下痢
- ・ 血便(鮮血便)、発熱、嘔吐等
- ・ 有症状者の6～7%において症状出現後、数日から2週間以内にHUS(溶血性尿毒症症候群)または脳症などの重篤な合併症が発症するといわれています

予防方法について

- ・ 食品は内部まで十分に加熱して食べましょう(生食は避けましょう)
- ・ 生野菜はよく洗いましょう
- ・ 焼肉、バーベキューなど、生肉を触る箸と食事用の箸は別にしましょう
- ・ 調理前後、食事前、用便後は必ず石けんで手をよく洗いましょう
- ・ タオルの共用はやめましょう
- ・ まな板・包丁などの調理器具はよく洗い、塩素系消毒剤などで消毒しましょう